



## 研究検査

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



### 項目名

- 傍腫瘍性神経症候群関連抗体セット (依頼コード No.13055)
- 筋炎関連抗体セット (依頼コード No.13056)
- 抗核抗体セット (依頼コード No.13057)
- 全身性強皮症関連抗体セット (依頼コード No.13058)
- 自己免疫性肝炎関連抗体セット (依頼コード No.13059)

受託開始日 2017年9月1日(金) 受付分より

血清1検体で、多項目の自己抗体を同時に測定するイムノブロット法を使用した検査です。

自己免疫性疾患（神経関連、筋炎関連、抗核抗体関連、強皮症関連、肝炎関連）の自己抗体の検出が可能です。

検査項目	検出抗体
傍腫瘍性神経症候群関連抗体セット (PNS12)	Amphiphysin, CV2, PNMA2(Ma2/Ta), Ri, Yo, Hu, recoverin, SOX1, titin, zic4, GAD65, Tr(DNER)
筋炎関連抗体セット (MYO)	Mi-2, Ku, PM-scl100, PM-scl75, SRP, Jo-1, PL-7, PL-12, OJ, EJ, Ro-52
抗核抗体セット (ANA)	nRNP/Sm, Sm, RNP70, RNPA, RNPC, SS-A, Ro-52, SS-B, Scl-70, PM-Scl, Jo-1, CENP-B, PCNA, dsDNA, histones, nucleosomes, ribosomal P-proteins, AMA-M2
全身性強皮症関連抗体セット (SSc)	Scl-70, CENP-A, CENP-B, RP11, RP155, fibrillar, NOR90, Th/To, PM-Scl100, PM-Scl75, Ku, PDGFR, Ro-52
自己免疫性肝炎関連抗体セット (ALD)	AMA-M2, M2-3E, Sp100, PML, gp210, LKM-1, LC-1, SLA/LP, Ro-52

次ページに続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用  
アプリ B-Book



電子カルテはビー・エム・エル



## ● 傍腫瘍性神経症候群関連抗体セット

主に傍腫瘍性神経症候群（PNS, paraneoplastic neurological syndromes）の研究を目的に使用されています。PNS は、悪性腫瘍に合併する臨床的な神経疾患として定義されています。腫瘍の種類により異なりますが、腫瘍は Amphiphysin, CV2, PNMA2 (Ma2/Ta), Ri, Yo, Hu などの抗原を発現し、それぞれに対する自己抗体の産生が誘導されることから、これら自己抗体の決定はPNSを考える上で極めて重要です。それら自己抗体は腫瘍発見に先行して検出されることもあり、腫瘍の早期発見マーカーとしての有用性も期待されています。

### 受託要領

依頼（報告） コード No.	13055（親）
	(子) 22144 AMPH (子) 22145 CV2 (子) 22146 PNMA2 (子) 22147 Ri (子) 22148 Yo (子) 22149 Hu (子) 22150 recoverin (子) 22151 SOX1 (子) 22152 titin (子) 22153 zic4 (子) 22154 GAD65 (子) 22155 Tr (DNER)
検査項目名	傍腫瘍性神経症候群関連抗体セット(PNS12)
検査材料	血清
検体必要量	0.3mL
容器	B-1 → S-1
検体の保存方法	冷蔵
所要日数	2～5
検査方法	イムノプロット法
基準値	(-)
報告単位	なし
報告範囲 (報告形式)	(-) (+-) (1+) (2+) (3+)

AMPH : Amphiphysin

## ● 筋炎関連抗体セット

主に筋炎の研究を目的に使用されています。筋炎は筋力低下を主徴とする慢性炎症性疾患ですが、その臨床像は多彩です。近年の研究では、筋炎の約7割で筋炎自己抗体が存在し、臨床像や病態に密接に関係することが分かってきています。よって、筋炎を考える上において各特異的抗体の鑑別をすることは極めて重要です。

### 受託要領

依頼(報告)コードNo.	13056 (親)
	(子) 22156 Mi-2 (子) 22157 Ku (子) 22158 PM-scl100 (子) 22159 PM-scl75 (子) 22160 SRP (子) 22161 Jo-1 (子) 22162 PL-7 (子) 22163 PL-12 (子) 22164 OJ (子) 22165 EJ (子) 22166 Ro-52
検査項目名	筋炎関連抗体セット(MYO)
検査材料	血清
検体必要量	0.3mL
容器	B-1→S-1
検体の保存方法	冷蔵
所要日数	2～5
検査方法	イムノプロット法
基準値	(-)
報告単位	なし
報告範囲(報告形式)	(-) (+-) (1+) (2+) (3+)

## ● 抗核抗体セット

主に抗核抗体の研究を目的に使用されています。抗核抗体は、様々な細胞核構成成分を標的としています(核酸、核タンパク質、リボ核タンパク質等)。それらは多くの疾患、特にリウマチ性疾患における特徴的な所見であり、その頻度(罹患率)は炎症性リウマチ疾患においては20%~100%、最も低い頻度である関節リウマチにおいても20%~40%です。したがって、特異的な抗核抗体の検査は、個々のリウマチ性疾患の鑑別に不可欠であり、自己免疫疾患を考える上で有用とされています。

### 受託要領

依頼(報告)コード No.	13057 (親)
	(子) 22167 nRNP/Sm (子) 22168 Sm (子) 22169 RNP70 (子) 22170 RNPA (子) 22171 RNPC (子) 22172 SS-A (子) 22173 Ro-52 (子) 22174 SS-B (子) 22175 Scl-70 (子) 22176 PM-Scl (子) 22177 Jo-1 (子) 22178 CENP-B (子) 22179 PCNA (子) 22180 dsDNA (子) 22181 histones (子) 22182 NUCLEO (子) 22183 RIB-P (子) 22184 AMA-M2
検査項目名	抗核抗体セット(ANA)
検査材料	血清
検体必要量	0.3mL
容器	B-1 → S-1
検体の保存方法	冷蔵
所要日数	2~5
検査方法	イムノブロット法
基準値	(-)
報告単位	なし
報告範囲(報告形式)	(-) (+-) (1+) (2+) (3+)

NUCLEO : nucleosomes

RIB-P : ribosomal P-proteins

## ● 全身性強皮症関連抗体セット

主に全身性強皮症 (SSc, systemic sclerosis) の研究を目的に使用されています。SSc は皮膚や内臓において線維化が生じる病気で、全世界で 10 万人に 2～50 人が苦しみ、年間で 10 万人あたり 1～2 症例が新たに見つかっています。主に成人中期で発症し、女性は男性に比して 3～4 倍の頻度で罹患します。その病因は不明ですが、抗核抗体が高率に検出されるため自己免疫疾患とされ、実際 SSc 患者の 95% 以上において自己抗体のいずれかが検出されます。これら個別の SSc 特異的 / 関連自己抗体は特徴的な臨床像と密接に結びついているため、自己抗体の同定は SSc を考える上で大変重要です。

### 受託要領

依 頼 ( 報 告 ) コ ー ド No.	13058 (親)
	(子) 22185 Scl-70
	(子) 22186 CENP-A
	(子) 22187 CENP-B
	(子) 22188 RP11
	(子) 22189 RP155
	(子) 22190 FBRL
	(子) 22191 NOR90
	(子) 22192 Th/To
	(子) 22193 PM-Scl100
	(子) 22194 PM-Scl75
	(子) 22195 Ku
(子) 22196 PDGFR	
(子) 22197 Ro-52	
検 査 項 目 名	全身性強皮症関連抗体セット(SSc)
検 査 材 料	血清
検 体 必 要 量	0.3mL
容 器	B-1 → S-1
検体の保存方法	冷蔵
所 要 日 数	2～5
検 査 方 法	イムノプロット法
基 準 値	(-)
報 告 単 位	なし
報 告 範 囲 ( 報 告 形 式 )	(-) (+-) (1+) (2+) (3+)

FBRL : fibrillarlin

## ● 自己免疫性肝炎関連抗体セット

主に自己免疫性肝疾患の研究を目的に使用されています。自己免疫性肝疾患は肝細胞や胆管細胞において自己免疫反応による細胞障害がおこる疾患で、原発性胆汁性胆管炎（PBC）や自己免疫性肝炎（AIH）などが含まれます。これらの疾患は核、ミトコンドリア、ミクロソームおよび細胞質抗原に対する特異性が高い抗体の存在を特徴とし、M2-3E, Sp100, PML 及び gp210 に対する自己抗体は原発性胆汁性胆管炎、LKM-1, LC-1 及び SLA/LP に対する自己抗体は自己免疫性肝炎、Ro-52 に対する自己抗体は自己免疫性肝炎及びリウマチ性疾患で見られます。

### 受託要領

依頼（報告） コード No.	13059（親）
	(子) 22198 AMA-M2 (子) 22199 M2-3E (子) 22200 Sp100 (子) 22201 PML (子) 22202 gp210 (子) 22203 LKM-1 (子) 22204 LC-1 (子) 22205 SLA/LP (子) 22206 Ro-52
検査項目名	自己免疫性肝炎関連抗体セット（ALD）
検査材料	血清
検体必要量	0.3mL
容器	B-1 → S-1
検体の保存方法	冷蔵
所要日数	2～5
検査方法	イムノプロット法
基準値	(-)
報告単位	なし
報告範囲 (報告形式)	(-) (+-) (1+) (2+) (3+)